

# 青桐会 保護者のためのガイドブック 発行にあたり

大東文化大学青桐会

第40代会長 杉 田 由 理

青桐会会員（父母等の保護者）の皆様には、日頃から大東文化大学青桐会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

青桐会は、会員の皆様方と大学との橋渡しとしての役割を果たすために、様々な事業を展開している学生保護者の会です。本会は1961(昭和36)年に設立され、1963(昭和38)年に北海道支部が発足し、1972(昭和47)年には奈良県支部を最後に、全国に47支部が組織されています。

例年7月初旬から8月下旬にかけて全国の各支部におきまして、支部総会が開催されます。本年も支部総会と就職懇談会を併催する支部が多くあり、本部から役員を派遣するとともに、大学からも教職員を派遣いただき、大学のトピックス、就職状況や学生生活の支援体制、学生個々の履修状況等につきましてご報告等いただく予定となっております。

また、支部の活動状況の報告や意見交換、先生方との懇談を設け、会員相互の交流はもとより、先生方との交流を通じて大学の様子や学生生活の様子、就職状況など様々な情報交換の場となっています。支部総会において皆様から頂きましたご意見等は、青桐会本部で取りまとめ、大学との意見交換会を通じてお伝えし、学生生活の向上に役立ていきたいと考えております。

この「2023年度 青桐会 保護者のためのガイドブック」は、お子様の学生生活の状況をご理解いただける構成となっております。大学各部署から貴重な情報を集めて、履修・進級要件や大学の教育環境支援、学生の生活面の情報などについて掲載しているほか、巻末には2022年度全国支部総会時に会員の皆様からいただいたご意見、ご要望について大学からの回答を掲載させていただきました。お子様とご一緒にご覧のうえ、学生生活の参考にいただければ幸いです。

なお、青桐会ホームページからも閲覧できるようになっています。是非、アクセスしてみてください。

今なお新型コロナウイルス感染症は終息しておらず、今後も引き続き感染症の状況に応じて適宜対応しつつ、大学の発展と学生生活の向上につながる活動を行ってまいります。会員の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



# 2023年度青桐会役員名簿

## 全国支部長

## 本部役員

NO	支部名	氏名	NO	支部名	氏名
北海道・東北ブロック	北海道支部	高橋 貴代江	近畿ブロック	滋賀県支部	未定
	青森県支部	増田 敏		京都府支部	未定
	岩手県支部	斉藤 修		大阪府支部	未定
	宮城県支部	秋山 由香		兵庫県支部	遠藤 勇人
	秋田県支部	嵯峨 恵		奈良県支部	未定
	山形県支部	鎌水 信也		和歌山県支部	未定
	福島県支部	未定		鳥取県支部	小林 睦
関東ブロック	茨城県支部	江尻 邦彦	中国ブロック	島根県支部	瀬尾 基春
	栃木県支部	市村 桂子		岡山県支部	鷹谷 智子
	群馬県支部	浦野 勇二		広島県支部	未定
	埼玉県支部	高橋 一夫		山口県支部	浜田 加奈
	千葉県支部	砂坂 英治	四国ブロック	徳島県支部	相田 泰寿
	東京都支部	弓削 丈士		香川県支部	中谷 美枝
	神奈川県支部	未定		愛媛県支部	酒井 史雄
	山梨県支部	未定		高知県支部	未定
北信越ブロック	新潟県支部	橋谷田 登	九州・沖縄ブロック	福岡県支部	荒巻 俊輔
	富山県支部	町口 由紀子		佐賀県支部	打越 さおり
	石川県支部	吉田 克己		長崎県支部	池田 和子
	福井県支部	未定		熊本県支部	高木 ひとみ
	長野県支部	押澤 あゆみ		大分県支部	進藤 佐知子
東海ブロック	岐阜県支部	坪内 雅博	宮崎県支部	中嶋 信一郎	
	静岡県支部	佐野 友美	鹿児島県支部	二渡 世利子	
	愛知県支部	未定	沖縄県支部	上田 正弘	
	三重県支部	未定			

役職	氏名
会長	杉田 由理
副会長	林 純恵
副会長	高橋 聡美
副会長	加納 邦夫
常任理事	柿迫 裕子
常任理事	近藤 禎男
常任理事	高橋 貴代江
常任理事	押澤 あゆみ
常任理事	磯部 裕正
常任理事	遠藤 勇人
常任理事	小林 睦
常任理事	下堂 蘭 賢二
会計	根本 ひとみ
会計	森田 香子
監事	飛坂 優二
監事	矢野 勝良

相談役	永井 文子
相談役	稲尾 勉



# 100周年を迎えて

大東文化大学学長 高橋 進

青桐会会員の皆さま方には、日頃より大学の教育や運営に対しまして、並々ならぬご支援・ご厚情、ご理解を賜り、厚く御礼を申し上げます。

3年を超える新型コロナウイルス感染症の蔓延で、社会生活に大きな変化がございました。大学の学びも、対面での授業が叶わず、オンラインやオンデマンドの授業実施を余儀なくされるという異常な状況が続きました。本来学生たちにとって、大学での4年間は、授業から知識を得ることだけが目的ではなく、学友と過ごす貴重な時間であり、また、部活・サークル活動での人間関係や課題解決などをおして、社会人として必要なコンピテンシーを獲得する時期でもあります。ご子息、ご息女も本当に苦渋の生活を送られたと痛感しています。

しかしながら、大東文化大学に集う学生は、皆さまのご理解とご支援があつて、この事態を立派に克服して参りました。「柔軟な思考力」と「状況を的確に捉えどんな事態にも適応していく力」は、これからの不確実な時代を生き抜く重要な力です。大東文化大学の学生は、その力を新型コロナウイルス蔓延禍であっても、十分に発揮してきたと確信しています。そして、なんととっても、「他を思いやる優しいマインド」「他を認め受け入れる共生の心持ち」のある本学学生を私たち教職員は誇りに感じています。

さて、いよいよ本学は100周年を迎えます。新型コロナウイルス感染症は完全に収束しておりませんが、本学に集う学生は、本学特有と言える多種多様な文化の交差点で、様々な友と出会い、獲得した知識の深化を図り、新しい文化の創造に向けて躍動を続けると期待をしています。そして、必ずや多岐にわたる活躍を遂げると信じています。

青桐会の皆さま、本学は、皆さま方との連携を更に強化して参りたいと願っております。そして、皆さまのご子息、ご息女の成長に共に寄り添い、感動を共有させて戴ければ幸甚でございます。どうぞ引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# 目 次

支部総会ごあいさつ	大東文化大学青桐会会長 杉田 由理
2023年度 青桐会役員名簿	
学長ごあいさつ	大東文化大学学長 高橋 進
教務・学部事務室関係 .....	9
教職課程センター関係 .....	31
学生支援センター関係 .....	39
キャリアセンター関係 .....	57
スポーツ振興センター関係 .....	67
国際交流センター関係 .....	79
地域連携センター関係 .....	91
2022年度全国各支部からの質問・要望／大学からの回答 .....	95
電話・FAXによる諸案内 .....	111

